

みよし学園研究テーマ

まちづくりに参画・貢献し、高い志を持つ児童生徒の育成

みよし学園がこの学年で育成したい資質・能力

コミュニケーション能力	協調性	主体性
○自分の考えを持ち、自分と友達の思いや考えの違いを意識できる。 ○自分の思いや考えを、分かりやすく伝えることができる。 ○自分の考えと比較しながら友達の考えを聞くことができる。 ○課題解決には、話し合うことが必要であることがわかる。	○一人では解決が難しい課題に対して、友達とともに解決方法を考えることができる。 ○一緒に取り組むことができる。	○日々の生活の中で、自己の課題に対して、自ら目標を設定することができる。 ○自らの判断で行動することができる。

総合的な学習の時間 学習指導案

三次市立三次小学校
教諭 益田 統司

- 1 日 時 令和6年11月11日（月） 3校時
- 2 学年・組 第6学年 （男子10名、女子12名 計22名）
ひまわり学級 （男子2名 計2名）
- 3 場 所 6年教室
- 4 単元名 三次中学校区オリジナルカリキュラム「校区まちガイド」
「つながる三次！」～ビフォーアフタープロジェクト（未来の自分）～
- 5 単元について

（1）単元観

本単元は、小学校学習指導要領第5章総合的な学習の時間第2の3の（5）に示された3つの課題のうち「児童の興味・関心に基づく課題」に当たる。この単元は、自分のことを知り、自分の良さを見つめ、自分の将来のことを考えていくことにより、自分や他者の生き方に関心をもち、自分の夢の実現に向かって今できることや何をすべきかを考えていく学習である。世の中には様々な仕事があり、仕事の魅力ややりがいについてインタビューをするなどして調べ、得られた情報をもとにして考えることで、児童一人一人が将来の夢や希望を見つけ、それを叶えるために、これからの目標を明らかにし、目標に向かって進もうとする意欲を高めることができる単元である。卒業という節目を迎えた小学校第6学年の児童が、三次の町で働く人々の職業に対する思いや願い、職業観等から、自分の将来の夢について振り返るとともに、自分なりの職業観をもち、夢の実現へと結びつけていくために自分なりに見通しをもつことをねらいとしている。

（2）児童観

本学年の児童は、言われたことを素直に聞いたり、学習に真面目に取り組んだりすることができる。ペアやグループでの話し合い活動では、意見を出し合ったり、教え合ったりする姿が見られる。一方で、全体の場での発言に対して抵抗感のある児童が多く、多人数の前で自分の考えを表現したり、出された考えをもとに練り上げたりすることに関しては課題が見られる。総合的な学習の時間にはこれまでも地域の特徴や文化について、探究的な学習過程を意識して、自分たちで課題を設定し、その課題を解決するために情報収集し、整理・分析した上で表現する学習を経験してきている。情報収集については、インターネット

トに頼る傾向が見られるものの、図書で調べたり、人に直接聞いたりすることが手段としてあり、多様なメディアを用いて情報を収集することの大切さは理解している。

全国学力・学習状況調査の「将来の夢や目標をもっていますか。」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」という質問に対しては、以下のような回答状況である。

内容	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
将来の夢や目標をもっていますか。	64.3%	21.4%	4.8%	9.5%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	69.0%	26.2%	2.4%	2.4%

この結果より、本学級の児童は多くの児童が将来の夢や目標をもち、人の役に立ちたいと考えていることが伺える。しかし、これまでの学習で、興味を持っている職業について調べたり、将来に向け目標を立てたりした経験はなく、現在の将来の夢や目標に関しては児童の興味関心に基づくものであると考えられる。学習を通して働くことは自己実現の一つになると同時に、社会貢献になり、人の役に立つという側面があること、社会を構成する一員となることを理解させる必要があると考える。

(3) 指導観

全体の場合での発言に対して抵抗感のある児童が多いことから、主体的に自信をもって学習に参加できるようにするために、総合的な学習の時間と他教科や既習事項との関連を意識した学習を展開していく。児童が強みを一つでも多くもって参加できれば、自信をもって自分の考えを伝えたり、安心して意見を交流したりと、主体的に表現できると考えた。

課題設定の場面では現在どんな職業があるか知った上で、自分がなりたい職業を決めていくために、職業集めゲームをする。様々な職業の大体が分かり、その中から自分で職業を選択していくことで、なりたい職業について主体的に調べていくような学習を展開することができると考えた。

情報収集や整理・分析の場面では、学習課題に関する情報を幅広く収集していくために、本やインターネットによる情報収集を行った後に、その内容と比べながら、働いている人にインタビューを行う。さらにインタビューする段階でグループに分け、それぞれのグループで入手した情報について交流し、重要性や信頼性を吟味する。自分たちで整理・分析した情報について模造紙にまとめ、報告を聞く時間を仕組み、お互いに評価し、さらに良いものにしていくことの良さを実感させたい。インタビューがより効果的なものになるように、話してほしい内容をインタビューシートにまとめ、事前にGTと打ち合わせをしておく。

最後に、学習を通して得た職業に関する知識や情報を、未来・夢パスポートにまとめ、そのスライドを活用して、友達や保護者に発表を行う。自分の将来の夢について何をしていくのかを語る場を設けることで、自分の夢や目標について自信をもって語れる児童になってほしいと考えている。また、三次町の文化や歴史を守ってきた先人達の努力にも気付かせ、自分たちにできることを考えさせる。

6 単元の目標

職業について調べる活動を通して、様々な職業の特徴や働く人々の思いに気付き、自己の将来の夢やそのために今やらなければならないことについて考えるとともに、将来の夢や希望をもち、具体的な目標を立て、これからの自分の生活に生かすことができるようにする。

7 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①社会には、様々な職業があり、それぞれに特徴や良さ、働く人々の思いがあることを理解している。 ②職業体験をしたり、職業について調べたりして収集した情報の関係について、表や文章で整理している。 ③職業ごとの特徴を調べ、その特徴に合わせた努力をしていくことが、自分の夢や希望の実現につながっていくことに気付いている。	①自分の将来や夢について、理想との隔たりから課題を作り、解決に向けて自分にできることを計画している。 ②希望する職業や身近（三次町内）な職業に対する情報を、手段を選択して収集している。 ③収集した情報から、将来の夢の実現に向けて必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら解決に向けて整理している。 ④自分の夢や目標を伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な表現方法を考えて発信している。	①職業について関心を持ち、自分が目指す姿を基に、地域の方と関わりを持ちながら自己課題を追及しようとしている。 【コミュニケーション能力】 ②課題解決に向けて、自ら判断して行動しようとしている。 【主体性】 ③課題解決に向けて、仲間と協働し、他者の意見や考え方を受け入れたり、異なる点について話し合ったりしながら取り組もうとしている。 【協調性】 ④自分も地域の一員であることを自覚し、地域のためにできることを考えて積極的に関わろうとしている。 【主体性】

8 単元計画（70 時間）

別紙資料

9 本時の展開

（1）本時の目標

○インタビュー等で得た情報（やりがい、役割、心がけていること、情報社会の中をどう生き抜いているのか等）を交流する中で比較、分類することを通して、職業を越えて共通する要素を見出そうとする。

（2）本時の評価規準

○インタビュー等で得た情報を交流する中で、比較、分類することを通して、職業を越えて共通する要素を見出そうとしている。【主体的に学習に取り組む態度③（協調性）】

（ルーブリック）

A	収集した情報を交流する中で、それぞれを比較・分類することで、職業を越えて共通する要素を見出そうとしている。また、見出した要素を自分の未来・夢パスポートの改善に活かそうとしている。
B	収集した情報を交流する中で、それぞれを比較・分類することで、職業を越えて共通する要素を見出そうとしている。
C	収集した情報を交流しようとしている。

<B評価に至らない児童への支援方法>

- ・別グループで聞いてきたことで、同じ内容のものは何なのかを確認させる。

（3）準備物

模造紙、付箋、マジック、振り返りカード

(4) 本時の展開

	学習活動 ■発問 ・予想される児童の反応	○指導上の手立て ●留意点	評価規準 (評価方法)
導入	1 本時の流れを確認する。 2 本時のめあてを確認する。	○これまでの活動を振り返らせ、本時の内容を確認させる。 ○本時のめあてを確認させる。	
	本時のめあて 職業インタビューしたことを交流して、共通していることを見つけよう。		
展開	3 グループで収集した情報について整理分析する。 ■ インタビューをしたことから、頭に残っていることをまとめましょう。 ①たくさんの情報を仲間分け！ ・相手（お客さん）とのコミュニケーション能力を大事にしているなんてすごいな。 ・この付箋は、「コミュニケーション能力」の仲間にできそう。 ・働いている人の思いや願いは、たくさん種類があるね。 ②別のグループと交流して、職業について聞いてみよう（7分程度） ・私のグループでも同じことが出てきていたよ。 ・この職業には、こんな思いや願いがあるのだね。 4 元のグループに戻って、情報を交流して、まとめる。 ・職業は違うけれど、気を付けていることや大切にしていることに共通点があったね。 ・三次町（地域）に対する思いや願いをもっておられることを改めて知ることができたよ。	○頭に残っていることを書いた付箋を提示し、理由をつけて発表させる。 ● KJ法を用いて、情報を整理させる。 ○グループリーダーを中心に話を進める。 ○各グループで代表者を決めて、それ以外の方は別グループへ行き、交流する。 ● 他のグループと交流する目的を明確にしたうえで、各グループに分かれさせる。 ○別グループから聞いた情報について交流して、模造紙にまとめを書かせる。	インタビュー等で得た情報を交流する中で、比較・分類することを通して、職業を越えて共通する要素を見出そうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度③（協調性）】 （行動観察・振り返りカード）

	5 本時のまとめをする。	○児童たちが交流して見出した内容から本時のまとめをさせる。	
	本時のまとめ 友達と情報を交流することで、職業は違っても、気を付けていることや大切にしていること、地域に対する願いや思いなどに共通点があることに気付くことができた。		
終末	6 振り返りをする。 ・比較したり、分類したり、ワールドカフェ方式でたくさんのチームの話を聞いたりしたことで、職業が違っても共通点があることに気付くことができた。 ・職業インタビューで印象に残っていることを理由とともに、聞き手の反応を見ながら伝えることができた。 ・グループで整理分析したことで、自分の未来・夢パスポートに入りたいことを見つけることができた。 7 次時の予定確認 8 次時の学習計画を考える。 次にどのような活動をしていくか考える。	○本時の学習内容をもとに振り返りを行わせる。 ○次時の予定を確認させる。 ○次時の予定から学習計画を立てさせる。	